団体名	業種名	事業名	施設名
かすみがうら市	水道事業	_	_

実施状況

	抜本的な改革の取組								
事業廃止	民営化• 民間譲渡	広域化等	民間活用				現行の経営		
争未焼止		四塚16寺	指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	地方独立行政法 人への移行	体制を継続		
		•		•					

抜本的な改革の取組状況

取組事項 (水道事業)広域化等 (実施類型) (取組の概要及び効果) (実施(予定)時期) 施設の 共同設置・利用 土浦市・かすみがうら市・阿見町と のシェアードサービス(上下水道料 金等徴収業務について共同プロ 経営統合 平成 実施済 電等倒収業務について共向プロポーザル) 業務内容として、受付・開閉栓・検針・調定・収納・滞納整理・給水停止・電算処理・その他付帯する業務の発売を 27 4 1 施設管理の 共同化 効果として、職員数の適正化、 管理の一体化 サービスの向上など。 ※かすみがうら市と阿見町はH27.4.1より実 施済(H27-R2) 実施予定 前回委託費比較: △年2,820千円 年 月 日 (取組の概要) (検討状況・課題) 検討中

取組事項 民間活用(名				包括的民間委託)					
			(取組の概要及び効果)	-	((実施済のみ)性能発注内容)	_	(実施(予定)時	期)
実施済	•		水道事業の経営改善、職員数の適正化による人件費削減・		公儿灶黑姑 声衣************************************		平成		
			サービス向上・技術継承等の対		給水装置等事務業務、量水器 交換業務、漏水調査及び対応		27	4	1
実施予定		策・休日夜間における緊急対応 など多くの効果が見込まれ、つ いては、水道料金の抑制に寄与 される内容である。			業務、休日夜間緊急時連絡対 応業務など		年	月	日
			_(取組の概要)	<u>(</u>	検討状況・課題)	I			
検討中		\Rightarrow							

団体名	業種名	事業名	施設名
かすみがうら市	下水道事業	公共下水道	_

実施状況

[抜本的な改革の取組									
	事業廃止	民営化・ 民間譲渡	広域化等	民間活用				現行の経営			
l	节 未烷工	民間譲渡	ID AN IOT	指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	地方独立行政法 人への移行	体制を継続			
			•								
			•								

抜本的な改革の取組状況

取組事項	(下水道事	業)広域化等					
	(実施類型)	,	(取組の概要	要及び効果)		(実施(予定)時	期)
実施済	汚水処理施設の統廃合			理施設の老朽化 人口減少により		令和		
			人口は大幅 状況下で適 と判断し、公 計画した。公	に減少している。 切な維持管理が :共下水道との統 :共下水道に統合	この 困難 合を iする	3	12	15
	処理場廃止あり	処理場廃止なし		維持管理費約15 減が可能である		_		
	•					年	月	日
	公共下水・流域下水の統合	公共下水同士 の統合	農集排水·公共下水と の統合	特環施設と公共下水との結合	そのも	也		
			•					
実施予定 ●	汚泥処理の 共同化	維持管理・事務 の共同化	最適な汚水処理施設 の選択(最適化)					
	(取組の概要)		(検討状況・	課題)				
検討中	→							

団体名	業種名	事業名	施設名
かすみがうら市	下水道事業	特定環境保全公共下水道	1

実施状況

	抜本的な改革の取組								
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	広域化等	民間活用				現行の経営		
于木冼工	民間譲渡	度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	地方独立行政法 人への移行	体制を継続			
		•							
		•							

抜本的な改革の取組状況

取組事項	(下水道車		
从仙事员	(実施類型)	(取組の概要及び効果)	 (実施(予定)時期)
実施済	汚水処理施設の統廃合	THE THE WAY	
	処理場廃止あり 処理場廃止なし]	年月日
			」 年 月 月 日
	公共下水・流域下 公共下水同士 水の統合 の統合	農集排水・公共下水と 特環施設と公共下 の統合 水との結合	その他
	汚泥処理の 維持管理・事務 共同化 の共同化	最適な汚水処理施設 の選択(最適化)	
実施予定	XMIL	O Joseph (Joseph La Josep	
	(取組の概要)	(検討状況・課題)	
検討中 ●	特定環境保全公共下水道については今年度に単独処理場のストックマネジメント計画を策定し、今後は流域下水道への接続等新たな手法を検討する。	流域下水道までの距離があるこの検証し、最適な手法を検討する。	とから単独処理場の在り方を

団体名	業種名	事業名	施設名
かすみがうら市	下水道事業	農業集落排水施設	_

実施状況

	抜本的な改革の取組								
事業廃止 民営化・		民営化・ 広域化等	民間活用					現行の経営	
于未况业	民間讓渡	四级记录	指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	地方独立行政法 人への移行		体制を継続	
		•							

抜本的な改革の取組状況

m如車百		(下水)当車:	業)広域化等					
取組事項		(下小坦争:						
実施済	(実施類型) 汚水処理施設の 就廃台		(取組の概点	要及び効果)		令和	予定) 時 	期)
	•		農業集落処理施設の老朽化は進んでいるが、人口減少により処理人口は大幅に減少している。この状況下で適切な維持管理が困難と判断し、公共下水道との統合を計画した。公共下水道に統合することで、年間維持管理費約15,0				12	15
	処理場廃止あり	処理場廃止なし		ことで、年間維持管理費約15,0 00千円の節減が可能である。				
	•					年	月	日
	公共下水・流域下水の統合	公共下水同士 の統合	農集排水·公共下水と の統合	と 特理施設と公共下 水との結合		ts.		
			•					
	汚泥処理の 共同化	維持管理·事務 の共同化	最適な汚水処理施設 の選択(最適化)					
実施予定 ●								
	(取組の概要)		(検討状況・	課題)				
検討中	>							